

## 第8回教育支援コーディネーター・フォーラム(報告②)

### 第1部 教育支援コーディネーターと企業・団体との交流 (10時15分から12時30分まで)

□オープニング□ 10:15~10:45

#### (1) 主催者挨拶



ネットワーク協議会 会長  
松山英幸 (東京都教育庁次長)



ネットワーク協議会 副会長  
杉江和男 (経済同友会「学校と  
経営者の交流活動推進委員会」  
委員長)

本フォーラムは、教育支援活動に取り組む、企業・大学・NPO等の皆様と、地域のコーディネーターの皆様とが一堂に会し、子供たちにとって、より良い教育支援プログラムの導入や活用のために、情報共有や意見交換を行う場として開催しております。おかげさまで、今回で第8回を迎えることができました。

教えて記憶を試すという教育から、生徒が自ら学ぶ能動的な教育に転換しなければ、教育再生で目指す生きる力は育成できないと思います。先生には教えるプロであって欲しい、そして学校の外にいる私たちは、子供たちが学ぶ動機を与えることが役割だと思います。「キャリア教育」なしに、教育再生はないとの信念のもと、御一緒に教育支援活動を進めていきましょう。

#### (2) オープニングメッセージ

〇「ネットワークがあってよかった！つながった！実現した！」  
印南政江 (杉並区立杉並第一小学校学校支援本部 副本部長)  
河野依子 (杉並区立杉並第一小学校学校支援本部 学校・地域コーディネーター)



(印南さん) 杉一小学校では、杉並区で13年前に「学校教育コーディネーター制度」が始まった当初から、外部講師を招いて子供たちの学習に活かしてきました。教育課程に沿った講師派遣が特徴です。

(河野さん) 校長先生からの要望は美術館での美術鑑賞でした。諸条件から具体化していなかったところ、フォーラムを通じて出会ったのが、「美術鑑賞プログラム」でした。アートカードを使って、知識を前提とせずに、児童が自由に発想し発言することができるプログラムでした。今年度、小学4年生の土曜日授業に、図画工作の先生ともねらいなどを確認し、そのねらいにあったプログラム内容を、支援団体と綿密に打合せをして導入することができました。



香月よう子さん (フリーアナウンサー・コーディネーター育成企画委員) による司会進行

